

平成29年度 学 校 目 標 (定時制)

県立神奈川総合産業高等学校長

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	① 教科指導においては、基礎基本を定着させることはもちろんのこと、「上級学校において役立つ学力」「社会の中で自ら生きていくために必要な学力」「学び直しとしての学力」の定着を図る。 ② 「学びの場」としての定時制高校の意義を再確認させ、生徒一人ひとりが主体的に授業に参加する授業づくりを実践する。	① 単位制システムを活用した多様な生徒のニーズに応える教育課程の確立を目指すとともに、選択科目の精選を図る。 ② 生徒一人ひとりが主体的に授業に参加する授業づくりを実践し、対話的な深い学びを踏まえ基礎基本の充実を図るとともに学習習慣の確立を目指す。	① 多様な定時制生徒の状況に応じてきめ細かく指導するためのGWPW*等の工夫改善を行うとともに、選択科目の精選を図る。 ② 指導主事を招いた研究授業等を実施し、職員スキルアップを図る。 ③ 関係するグループと連携し、授業規律を徹底させ、よりよい学習環境を継続して整備する。 * : GWPW (Group Work Pair Work)	① 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語環境を整え、生徒の言語活動を充実することができたか。 ③ 組織的な授業改善の取り組みが深められたか。 ④ 生徒自らが受信して考え、発信する場の設定ができたか。
2	生徒指導・ 支援	① 一人ひとりの生徒理解に基づく生徒指導や教育相談体制を充実させ、希望をもって学べる学校づくりを進める。 ② すべての教育活動を通して道德教育を推進し、道德的心情と道德的判断力を育む。	① 落ち着いた学習環境を整えるとともに、充実した明るい学校生活を支援する。 ② 規範意識と社会的言語能力をしっかりと身に付けた自立した社会人を育成する。	① 関係するグループと連携し、授業規律を徹底させ、よりよい学習環境を継続して整備する。 ② さまざまな体験活動や交流活動を通して集団や社会の一員として自主的実践的に行動できる態度を育成し、自己を生かす能力を養うことにつなげる。	① 生徒の状況を的確に把握し、支援の必要な生徒に対して組織的な支援ができたか。 ② 生徒が意欲的・主体的に取り組む体験活動や交流活動を充実することができたか。
3	進路指導・ 支援	① キャリア教育の一環として、道德教育との関連性をもって、すべての教育活動において、生徒一人ひとりが社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度を育てる。	① 生徒一人ひとりのキャリアの発達を目指し、それぞれの進路実現を支援する。	① 多様な定時制生徒の状況に応じた決め細かい指導を実現するために年次団とグループが密接に連携する。 ② 多様な進路選択のために、就職活動サポート、進学支援、シチズンシップ教育、道德教育の充実を図る。	① 生徒の職業観の変容状況を把握し、キャリア教育を充実させることによって、希望する進路先への実現ができたか。
4	地域等との協働	① 家庭や地域の教育力の活用と関連行政機関との連携を一層充実させ、教育力の向上を図る。	① 地域および学校間の連携を強化し、開かれた学校づくりを推進する。	① 学校、家庭、地域と連携した教育活動、開かれた学校づくり、学校説明会、ホームページ等を広く活用した学校広報活動の推進を図る。 ② コミュニティ・スクール指定校として特色ある教育活動を推進する。	① 地域や外部機関と連携を図り、学校周辺の環境整備事業やその活動状況について徹底できたか。
5	学校管理 学校運営	① 学校防災力の向上を図り、自らのいのちを守る防災教育を実践する。 ② 不祥事防止を徹底するとともに、教職員の課題解決能力を一層向上させる。	① 安全・安心で信頼される学校づくりを推進する。 ② 生徒、保護者と職員の信頼関係のもと、充実した式典等の学校行事に取り組む。	① 防犯・防災体制の構築、防災教育の徹底により、学校防災力の向上を図る。 ② 関係グループと連携し、ホームページ等で緊急時の情報発信体制の確立を図る。 ③ 教職員の実践的指導力の向上により生徒自らが考え、主体的に式典等学校行事に取り組みせる姿勢づくりを図る。	① 防災学習会や夜間停電対策の充実、地域と防災対策について連携を強化できたか。 ② 緊急時の対応を整備できたか。 ③ 生徒が主体的運営に携わりどれだけ事故不祥事防止につなげられたか。